

ご案内

オンライン「島々シンポジウム—要塞化する琉球弧の今」

日時 2022年11月26日 14:00～16:30ご案内

(以下、小西誠さんのメールを部分転載)

11/26 (土)、石垣島からの、「島々シンポジウム」のご案内です。石垣島からのliveでお届けします。どうぞ、ご視聴下さい！

●2022年度内に、石垣島へミサイル基地開設を強行しようとしている自衛隊——今、年末の「防衛計画の大綱」などの大改定に向かってとんでもない大軍拡（防衛費の2倍化）を打ち出し、石垣島配備予定の地対艦ミサイル射程の1500キロや、超高速滑空弾の射程千キロ、さらには「敵基地攻撃能力」をもつトマホーク保有・配備さえ主張されている。そして、「台湾有事」が声だかに叫ばれる中、石垣島では、シェルター設置さえ唱え始められた。島の住民の命を全く軽視した、この政府の凄まじい戦争態勢づくりを、私たちは阻む。

——石垣島のオーバーたちの声を、住民たちの声を聞いてください！

.....

●日時 11/26 (土) 14:00～16:30 ●場所 zoomウェブセミナー ●無料 (カンパ歓迎)
*パネラー

- ・山里節子さんと「いのちと暮らしを守るオーバーたちの会」の皆さん
- ・普天間明日香さん・通崎彩子さんら「普通に暮らしたいズ」の石垣島在住の皆さん

*司会・進行

- ・FUJIKOさん (うたうたい、島じまスタンディング)
- ・石井信久さん (島じまスタンディング)

*解説 小西誠 (軍事ジャーナリスト)

●登録リンク (アドレス)
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_QzYB3LT_QR28nuBpLHMpw

沖縄。米軍車両を1人で長時間止めている女性がいます。(左図)
<https://twitter.com/TaiinAKN64/status/1593644658223030272> URL ↓



アキノ隊員 @TaiinAKN64

(1) 2022年11月18日14時17分頃、北部訓練場メインゲート前で米軍の幌トラック4台を止めました。
akinotaiin.blog.fc2.com/blog-entry-117...
 #やんばる世界自然遺産 やんばる世界自然遺産
 @IUCN @UNESCO

Translate Tweet

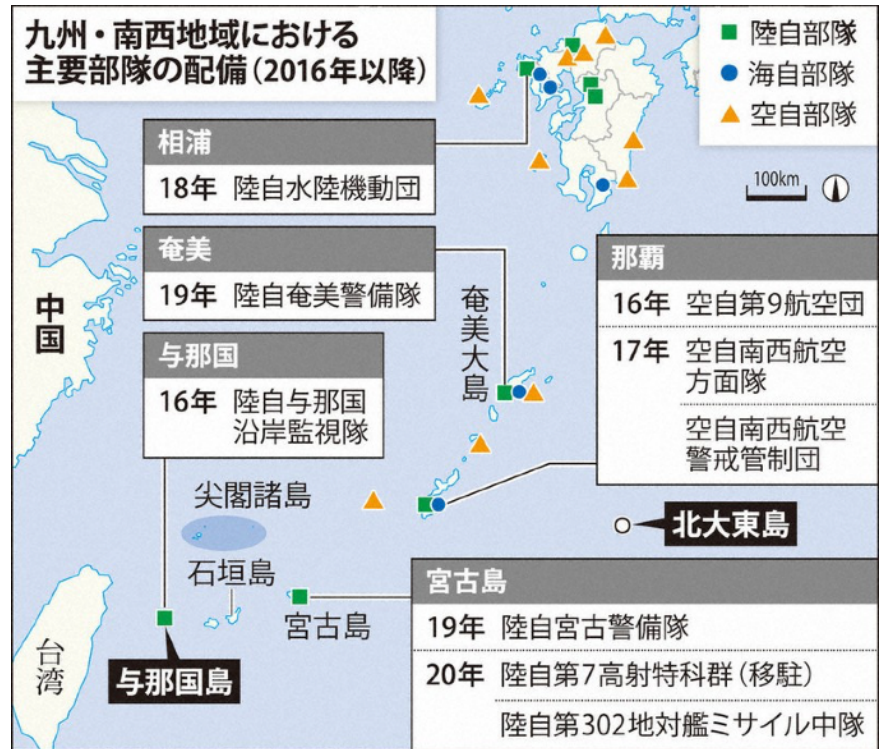


1:37 AM · Nov 19, 2022 · Twitter Web App

39 Retweets 5 Quote Tweets 71 Likes

「台湾有事」に日本を巻き込むシナリオ

南西諸島（琉球弧）における自衛隊軍拡、特にミサイル基地建設は「台湾有事」を煽り、これを口実に行われています。しかし1972年の日中共同声明で日本政府は「一つの中国」の立場を表明している以上、中台戦争が起きたとしても、日本がこれに「参戦」する法的根拠はありません。しかしメディアでは盛んに危機が煽られ、軍拡の口実になっています。（右の図は毎日新聞2022/5/2から）



では自民党などはどのようにしてこの戦争に日本を「参戦」させようとしているのか、その手口は、伊勢崎賢治氏らの新刊書「非戦の安全保障論」（集英社新書、2022年）の一節に書いてあります。

要するに、法的根拠がないなら、法的議論をバイパスできる状況を作ればよいということです。その手口をこの本の中で、柳澤協二氏が説明しています。その部分を引用。

実際にはどうやるかということ、トンキン湾事件のようにアメリカ海軍の船が中国から攻撃されたということで、個別的自衛権を理由にしてアメリカが参戦をして日本は2015年の新安保法制で法制化された米艦防護とか集団的自衛権で入っていくことになるのでしょうか。あるいは、日本の米軍基地が攻撃されれば、日本の領域内への攻撃は安保五条にいう自衛権発動のトリガーになるわけなので、日本としては個別的自衛権で入っていくことになる。（p.96）

このような、まさに脱法的な戦争のシナリオを許してはなりません。そのためには、この本の共著者でもある伊勢崎賢治氏や、長年琉球弧への自衛隊軍拡の問題を警告している小西誠氏が主張する「琉球弧の非武装地帯化」が重要です。軍隊のいないところでは「戦争」は起こりません。（文責：豊島耕一・元佐賀大学理工 2022/11/19）

筆者ブログ関連記事：

「『中国が南西諸島に侵攻する』のか？」

<https://pegasus1.blog.ss-blog.jp/2022-09-06>

「『台湾有事』に日本を巻き込むシナリオ」

<https://pegasus1.blog.ss-blog.jp/2022-11-12>